
トイレ争奪戦！

のりまき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トイレ争奪戦！

【Nコード】

N9333C

【作者名】

のりまき

【あらすじ】

4人家族の清々しい朝に繰り広げられる、トイレの争奪戦を描いた、アホ物語。どうじよ、読んでくだされ。息抜き作品のため、文章は拙いです。

（前書き）

息抜き作品です。

文章が拙くなっていますことをご理解していただければ、幸いです。

そつ、それはある家族に起こった、壮大な戦争であった。

ある日の清々しく心地の良い朝のこと、4人家族のF家の一員がゆったりとした時を過ごしていた。

朝食も済まし、リビングに4人は集まっていた。

突然、父が立ち上がると、姉の目が光る。

片手に持った新聞、目に涙を浮かべるほどの爽快な欠伸……間違いないわ！

分析を済ますと、姉も立ち上がった。

2人の様子に気付く、弟と母。

辺りは緊迫の空気に包まれていった。

「お父さん、トイレ？」と姉。

父は、眼鏡を人差し指で位置付けする。

くそっ！ バレたか。

「ふふふ、お前には関係のないことだ」

腰に手を添えた、母がお玉を父の持っている新聞に向ける。

「トイレに、新聞は必要ないでしょう」

「そんなの持つてるから長くなるんだよ」と弟。

しかし、父にとって新聞は、トイレに行くのに欠かせない代物だった。

「お前らも新聞くらい読めよ。勉強になる」

「何も、トイレで読まなくてもいいじゃない」

姉が睨みを利かせた。

3人に睨まれる父は、歯を食いしばっていた。

そして、3人は知っていた。

父が先に入れば、トイレがどんなに悲惨な場所へと変貌するか。

辺りの空気は張り詰めていた。

ダッ！ 突然、父が走り出した。

「トイレは、わしのもんだ！」

「コラッ！ 待てジジイ！ あたしが入るんだよ！」

「待つてよお！ 僕が入るんだから！」

「まったくもう。朝っぱらから……私が入るに決まってるじゃない！」

母を最後に、4人はトイレへと全力疾走。

先頭を走る父が余裕の笑みを浮かべて、後ろを振り返った。

しかし、それがアダとなり、前方不注意のため、壁に激突。

「わ、わしとしたことが」

「様ア見ろ、くそジジイ！」

「ジジイ、ダッサア！」

「おほほほっ、そのままお寝んねしてな！」

3人に跨れ、父は脱落した。

なおも3人は、姉を筆頭にトイレへと走る続ける。

「うふふ、じゃあね、御2人さん。てめえらのママゴトには付き合
つてられねえよ！」

途端に、姉のスピードが格段に上がる。

2人との差が、見る見るうちに広がっていった。

そして、とうとう、トイレの入り口へ辿り着く。

「あつはあ！ お先に、失礼」

「まだ、安心するのは早いわよ」

不敵な笑みをこぼしながら、母は弟の後ろを走り続ける。

姉は余裕の欠伸と共に、トイレのドアを開けた。

その瞬間、何かが姉の肩をすり抜けた。

恐ろしさのあまり、膝を落とす姉。

「そ、そんな……包丁を飛ばすわなんだなんて」

姉の崩れ落ちる光景に、弟は啞然とする。

こ、こんな罠があったとは……このババア、くされやベエ！

愕然とスピードを落とす弟を尻目に、母は先立った。

「おほほほほほ！ 母親は最強なのよ！」

ハッと気付いた弟は、全力で母を追いかける。

母が先にトイレに着いた。

「ふつ、敗者は外界で這い蹲ってな」

「させねえ！」

不敵な笑みでドアノブに手をかける母に全力で弟は突っ込んだ。

「我が拳に宿りし、暗黒の魔獣よ。今こそその力を解き放たれよ！」

赤く染まり、蒸気を発する拳を弟は、母に繰り出した。

母の顔面に向かってくる拳。

た、ただならぬ攻撃力を察知！ く、くされやべエ！

弟の拳が母の頬をかすめる。

か、紙一重で、かわしやがった！？

赤く腫れる頬をさすりながら、母は不敵な笑みを浮かべている。

「残念だったわね、あんたの攻撃を避けるくらい、造作でもねえこ
った」

固まる弟を背に、母はドアを開ける。

ここまでか……。

弟が涙を浮かべた瞬間だった。

姉が包丁を母の顔面にかざす。

「あんたに、トイレは渡さない。弟！ 今のうちに中へ！」

「で、でも、お姉ちゃん！」

「いいから、早く!」

すでに目が潤んでいる弟は、トイレへと急いだ。

しかし、次の瞬間、弟は脚を奪われ、その場に崩れ落ちる。

「あ、足掛けとは……姉貴、裏切ったな!」

「裏切る? バカじゃないの? これはサバイバル。すべては、自分のために決まってるじゃない」

甲高い笑い声と共に、悠々とトイレへと入っていく姉。

「ちょ、ちょっと……なんであんたが」

バサリと紙が空を切る音と共に、便座に座る父の姿が、映し出される。

「楽しい光景を見たよ」

父の息吹と共に、啞然とする3人の前で、静かにドアは閉められる。

【完】

（後書き）

『君がいた夏 時のささくれ』と『鬼ごっこ病』連載中です。
もしよろしかったら、そちらも見てくださいな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9333c/>

トイレ争奪戦！

2011年1月9日03時16分発行